

平成28年度 全国学力・学習状況調査 葉山町の結果について（小・中学校）

葉山町教育委員会

目次

1 調査の概要

- (1) 調査の目的
- (2) 調査の方式
- (3) 集計児童・生徒及び学校数（葉山町立小・中学校関係）
- (4) 調査結果の解釈等に関する留意事項
- (5) 調査結果の見方



2 小学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

- (1) 全体の傾向
- (2) 国語
- (3) 算数

②【児童質問紙に関する調査の結果】

- (1) 家庭学習に関わる内容について
- (2) 学力向上に関わる内容について
 - ・学習規律に関すること
 - ・主体的な活動（話し合い活動・発表）に関すること
 - ・授業に関すること
- (3) 教科に関わる内容について

3 中学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

- (1) 全体の傾向
- (2) 国語
- (3) 数学

②【生徒質問紙に関する調査の結果】

- (1) 家庭学習に関わる内容について
- (2) 学力向上に関わる内容について
 - ・学習規律に関すること
 - ・主体的な活動（話し合い活動・発表）に関すること
 - ・授業に関すること
- (3) 教科に関わる内容について

1 調査の概要

平成28年4月19日に実施した「平成28年度 全国学力・学習状況調査」について、葉山町立小・中学校の児童・生徒の学力等の状況は、概ね次のとおりです。

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(出典：平成28年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領(文部科学省))

(2) 調査の方式 悉皆調査

- 【参考】 *平成19年度～平成21年度：悉皆調査
*平成22年度～平成24年度：抽出調査(※平成23年度は震災で中止)
*平成25年度～平成28年度：悉皆調査

(3) 集計児童・生徒及び学校数(葉山町立小・中学校関係)

○集計児童・生徒数

※4月19日に調査を実施した児童・生徒数

	公立	葉山町	神奈川県	全国
小学校		306	72,920	1,021,910
中学校		255	65,612	996,578

○集計学校数

※4月19日に調査を実施した公立学校数

	公立	葉山町	神奈川県	全国
小学校		4	860	19,335
中学校		2	418	9,464

※児童・生徒数及び学校数ともに、小学校は特別支援学校小学部、義務教育学校(前期)、中学校は中等教育学校(前期)、特別支援学校中学部、義務教育学校(後期)を含む。

(4) 調査結果の解釈等に関する留意事項

- 本調査の結果から読み取れることとして、次のような点に留意する必要がある。
- ・実施教科が国語、算数・数学の2教科であり、学習指導要領の全てを網羅するものではないことから、児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部分であること。
(※理科については、3年に一度、調査を実施している。平成27年度に実施済)
 - ・年度により問題の質が異なるため、学力の向上・低下の傾向を正答率のみで容易に評価することは難しいこと。

(5) 調査結果の見方

* 全国の平均正答率(公立)の±5%の範囲内であれば同程度と考える。

(出典：平成28年度全国学力・学習状況調査 報告書 平成28年8月 文部科学省)

(用語説明) ※ 平均正答率・・・平均正答数を百分率で表示。

○国語A、国語B、算数A・数学A、算数B・数学Bごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。

○学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童・生徒数を全体の児童・生徒数で割った値の百分率。

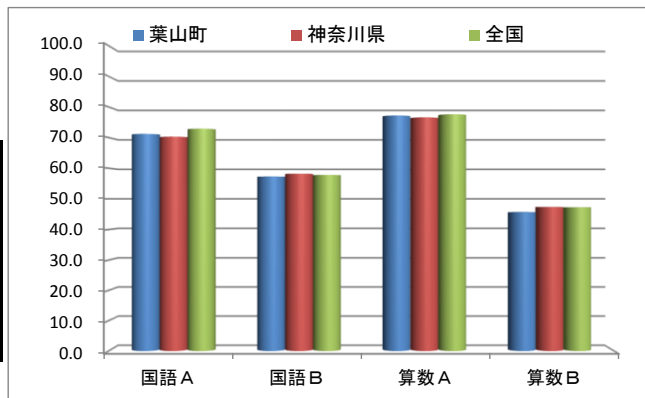
2 小学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

(1) 全体の傾向

【平均正答率 %】

	葉山町	神奈川県	全国
国語A	71.2	70.3	72.9
国語B	57.3	58.2	57.8
算数A	77.2	76.6	77.6
算数B	45.6	47.3	47.2



※A：主として「知識」に関する問題，B：主として活用に関する問題

- ・ 両教科A，Bの調査結果は，全国・県の平均正答率±5%範囲内であるため，全国・県と比較してもほぼ同程度と考えられる。
- ・ 国語Aは多くの設問で全国・県と同程度の平均正答率である。国語Bは多くの設問で全国・県と比べて平均正答率が低くなっている。
- ・ 算数Aは多くの設問で全国・県と同程度の平均正答率である。算数Bは多くの設問で全国・県と比べて平均正答率が低くなっている。

(2) 国語

結果の概要	国語Aについては，基礎的・基本的な知識・技能の定着は概ね図られている。国語Bについては，グラフを基に分かったことや自分の考えを書くこと，目的に応じて本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することなどに課題がみられた。
話すこと 聞くこと	・「目的に応じて，質問したいことを整理する」や「話し手の意図を捉えながら聞き，話の展開に沿って質問する」「目的や意図に応じて収集した情報を関係付けながら話し合う」については，正答率が高い。
書くこと	・「書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する」や「目的や意図に応じて，書く事柄を整理する」については，正答率が高い。 ・「話し手の意図を捉えながら聞き，話の展開に沿って質問する」や「目的や意図に応じて，表を基に，自分の考えを書く」については正答率が高い。 ・「グラフを基に，分かったことを的確に書く」や「目的や意図に応じて，グラフを基に，自分の考えを書く」「活動報告文において，課題を取り上げた効果を捉える」については正答率が低い。
読むこと	・「目的に応じて，文章の内容を的確に押さえ，自分の考えを明確にしながら読む」については正答率が高い。 ・「目的に応じて，図と表とを関連付けて読む」や「登場人物の人物像について，複数の叙述を基にして捉える」については正答率が低い。 ・「目的に応じて，複数の本や文章などを選んで読む」や「目的に応じて，本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する」については正答率が低い。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・毛筆に関する設問では「用紙全体との関係に注意し，文字の大きさや配列などを決める」について正答率が低い。 ・「平仮名で表記されたものをローマ字で書く」や「ローマ字で表記されたものを正しく読む」については正答率が低い。

課題及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を分析し，内容を的確に書いたり，自分の考えを書いたりする力が弱いことから，目的や意図に応じ，全体を見通して事柄を整理しながら，自分の考えが伝わるように書くことを指導することが必要である。 ・文章を読む際に，書かれている話題，理由や根拠になっている内容を的確に押さえて要旨をとらえるようにすること，また文学的な作品については想像を豊かにしながら読む工夫などを指導の中に取り入れることが必要である。 ・ローマ字について，読み書きの定着を図ることが必要である。
---------	--

(3) 算数

結果の概要	算数Aについては、全国・県とほぼ同程度であるが、主として活用に関するBの「量と測定」「図形」における「数学的な考え方」について正答率が低く、課題がみられた。また全領域とも記述式の設問については、課題がみられた。
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 「不等号を理解している」や「数の大小関係を理解している」については正答率が高い。 「除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している」や「除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している」については全国・県と比べて正答率が低く、課題がみられた。 「末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる」や「小数の除法の計算をすることができる」については正答率が低い。 「示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる」については正答率が低い。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 「三角形の底辺と高さの関係について理解している」については正答率が高い。 「示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる」については正答率が低い。 「単位量当たりの大きさを求めるために、ほかの必要な情報を判断し、特定することができる」については、正答率が低い。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 「図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる」や「正方形に内接する円の半径について理解している」については、正答率が高い。 「示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる」「図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる」については正答率が低く、課題がみられる。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 「全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している」や「示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる」「1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している」については、正答率が高い。 「示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができる事柄とできない事柄を特定することができる」については正答率が低い。 「グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる」については、正答率が低い。
課題及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> 小数等の四則計算について、計算能力を定着させ、それらを用いる力を伸ばす指導の工夫が必要である。 図形については観察や構成などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにすること、また、図形の性質を見いだして説明することを通して、論理的な考えを育成することなどが必要である。 資料の整理と読み取りは、的確な判断をしたり合理的な予測をしたりする態度を育てる上で大切である。目的に応じて資料を整理したり、読み取ったりする活動を多く取り入れることが必要である。

②【児童質問紙に関する調査の結果】

<抽出項目について>

「葉山町学びづくり研究推進事業」で取り組んでいる内容に深く関連している項目（「家庭学習」、「学力向上」、「教科」）に関わる設問を児童質問紙の中から抽出しています。これらの結果から、成果と課題を振り返り、今後の授業づくりに必要な視点や家庭との連携について、さらなる充実を図ることをねらいとしています。また、小学校から中学校への学びの連続性を踏まえ、小・中共通の設問を抽出し、分析しています。

(1) 家庭学習に関わる内容について

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計(百分率)
 ※①・②の数値は、それぞれの欄に記載した回答の割合

質問紙より抽出	小学校		
	葉山町	神奈川県	全国
① 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※「2時間以上」と回答した割合	26.5	30.6	25.5
② 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※「4時間以上」と回答した割合	12.7	11.7	6.7
③ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	59.2	59.5	62.2
④ 家で、学校の宿題をしていますか	98.4	96.7	97.0
⑤ 家で、学校の授業の予習をしていますか	35.3	41.4	55.2
⑥ 家で、学校の授業の復習をしていますか	39.2	45.7	55.2
⑦ 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	55.5	57.1	64.6

課題及び改善点	学校の授業時間以外に学習している時間は、全国よりも高い割合となっており、学校が休みの日の学習時間も全国・県と比較して高い割合となっている。一方、家庭での予習、復習、自学自習についての取組みは低い割合となっている。学習習慣が確立していない児童について、学校はこれまで以上に家庭と連携しながら家庭学習の充実を図っていくことが必要である。
---------	--

(2) 学力向上に関わる内容について (学習規律, 主体的な活動, 授業)

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計(百分率)

質問紙より抽出		中学校		
		葉山町	神奈川県	全国
①	学校の規則を守っていますか	86.0	90.3	91.5
②	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください	80.0	82.1	84.8
③	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	73.9	77.2	77.8
④	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	85.6	84.0	85.1
⑤	5年生までに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	82.7	82.4	83.4
⑥	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	73.2	74.7	75.7
⑦	5年生までに受けた授業で、学級の友達と話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	78.7	75.7	77.1
⑧	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	63.4	64.4	64.2
⑨	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	64.7	67.1	68.3
⑩	5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	82.3	85.0	87.6
⑪	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	57.2	72.9	76.1
⑫	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	73.9	84.7	87.9

課題及び改善点	授業の中で、話し合い活動や発表の場が積極的に取り入れられるようになったことがわかる。今後は、より充実した話し合い活動を工夫し、児童の思考力や表現力の育成を目指した授業を実践していくことが必要である。授業の初めには目標を提示し、最後には、学習内容を振り返る活動を徹底すること、また効果的なノート指導の工夫等もこれからの課題である。
---------	--

(3) 教科に関わる内容について

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計(百分率)

質問紙より抽出		小学校		
		葉山町	神奈川県	全国
①	国語の勉強は好きですか	54.9	60.2	58.3
②	国語の授業の内容はよく分かりますか	81.1	81.9	80.7
③	読書は好きですか	72.5	73.4	74.6
④	国語の問題について全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	93.1	95.0	95.6
⑤	算数の勉強は好きですか	61.8	66.2	66.0
⑥	算数の授業の内容はよく分かりますか	78.4	79.4	80.2
⑦	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	78.5	80.1	80.5

課題及び改善点	児童が自主的に学ぶ姿勢をもつことは、資質や能力を身に付け、能動的に学び続けるためにも必要な要素となる。学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組むことができるよう、手立てを模索しながら、授業改善に努めることが必要である。
---------	---

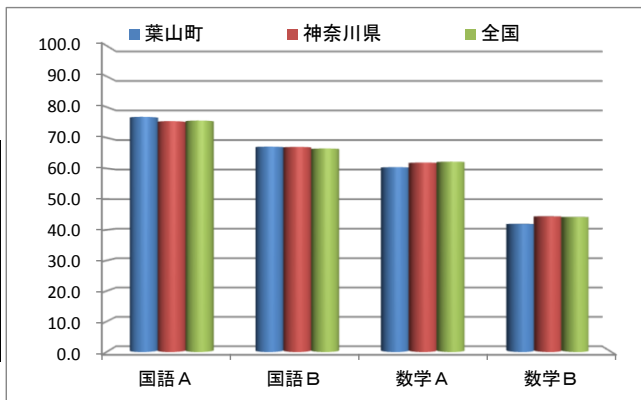
3 中学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

(1) 全体の傾向

【平均正答率 %】

	葉山町	神奈川県	全国
国語A	76.8	75.4	75.6
国語B	67.1	67.0	66.5
数学A	60.4	61.9	62.2
数学B	41.8	44.3	44.1



※A：主として「知識」に関する問題，B：主として活用に関する問題

- ・ 両教科A，Bの調査結果は，全国・県の平均正答率±5%範囲内であるため，全国・県と比較してもほぼ同程度と考えられる。
- ・ 国語はA，Bともに多くの設問で全国・県と比べて平均正答率が高くなっている。
- ・ 数学はA，Bともに多くの設問で全国や県と比べて平均正答率が低くなっている。

(2) 国語

結果の概要	国語Aについては，基礎的・基本的な知識・技能の定着は概ね図られている。国語Bについては，文章の構成や表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えを具体的に書いたり，目的に応じて必要な情報を読み取ったりする点に課題がみられた。
話すこと 聞くこと	・ 「聞き手の立場を想定し，話の中心的な部分と付加的な部分との関係に注意して話す」や「相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す」，「全体と部分との関係に注意して話を構成する」については，正答率が高い。
書くこと	・ 「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」や「伝えたい事柄について，根拠を明確にして書く」については，正答率が高い。 ・ 「課題を決め，それに応じた情報の収集方法を考える」については，全国・県と比べ正答率が高い。 ・ 「文章の構成や表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」については，全国・県と比べ正答率が低く課題がみられた。
読むこと	・ 「登場人物の言動の意味を考え，内容を理解する」や「文章の展開に即して情報を整理し，内容を捉える」，「文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け，要旨を捉える」については，正答率が高い。 ・ 「文章の構成を捉える」については，全国・県と比べ正答率が低く，課題がみられた。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・ 「語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う」や「歌に表れた作者の思いを想像する」については，正答率が高い。 ・ 「文の成分の照応について理解する」や「文字の形や大きさ，配列に注意して書く」については，課題がみられた。

課題及び改善点	・ 文章の構成や展開，表現の仕方について自分の考えをまとめる力を身につけるために，自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げるように指導することが必要である。 ・ 資料から読み取った情報を適切に活用する力を身につけるために，自ら課題を設定し，基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習過程を設定することが大切である。また，他者と相互に考え方を深めたりまとめたりしながら課題解決する学習場面を意図的に設定し，指導することが有効であると考えられる。
---------	---

(3) 数学

結果の概要	数学A, Bともに、「図形」「関数」「資料の活用」における、「数学的な見方や考え方」、「数量や図形などについての知識・理解」について、課題がみられた。 数学Bの「記述式問題」については、正答率が低く、課題がみられた。
数と式	<ul style="list-style-type: none"> 「正の数と負の数の加法の計算ができる」や「2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる」については、正答率が高い。 「自然数の意味を理解している」や「数量の関係を文字式に表すことができる」、「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる」については、課題がみられた。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 「見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる」や「平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる」については、正答率が高い。 「垂線の作図の方法について理解している」や「付加された条件の下で、新たな事柄を見だし説明することができる」については、課題がみられた。 「2つの辺の長さが等しい事を三角形の合同を利用して、筋道を立てて考え、証明する」については、課題がみられた。
関数	<ul style="list-style-type: none"> 「比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる」については、正答率が高い。 「反比例のグラフ上の点の座標から、xとyの関係を式で表すことができる」については、課題がみられた。 「加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる」や「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」については、課題がみられた。
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> 「簡単な場合について、確率を求めることができる」については、正答率が高い。 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」や「与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる」については、全国・県と比べ正答率が低く、課題がみられた。
課題及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> 様々な問題を数学を活用して解決することができるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実することが大切である。 日常生活や社会における問題に対して、資料を用いて傾向を的確に捉え問題を解決できるようにするために、収集したデータを整理したグラフの形から分布の特徴を視覚的に捉えたり、代表値を求めて比較したりするなど、数学的な表現を用いて判断の理由を説明する学習場面の充実が有効であると考えられる。

②【生徒質問紙に関する調査の結果】

<抽出項目について>

「葉山町学びづくり研究推進事業」で取り組んでいる内容に深く関連している項目（「家庭学習」、「学力向上」、「教科」）に関わる設問を生徒質問紙の中から抽出しています。これらの結果から、成果と課題を振り返り、今後の授業づくりに必要な視点や家庭との連携について、さらなる充実を図ることをねらいとしています。また、小学校から中学校への学びの連続性を踏まえ、小・中共通の設問を抽出し、分析しています。

(1) 家庭学習に関わる内容について

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計(百分率)
※①・②の数値は、それぞれの欄に記載した回答の割合

質問紙より抽出		中学校		
		葉山町	神奈川県	全国
①	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※「3時間以上」と回答した割合	18.0	15.2	9.4
②	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※「4時間以上」と回答した割合	8.2	6.4	5.1
③	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	47.1	48.1	48.4
④	家で、学校の宿題をしていますか	89.9	86.7	90.1
⑤	家で、学校の授業の予習をしていますか	38.8	39.2	34.2
⑥	家で、学校の授業の復習をしていますか	50.2	45.3	51.0
⑦	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	72.9	66.3	68.2

課題及び改善点	学校の授業時間以外（月～金）や土日に学習している割合は、全国・県と比較しても高い割合となっている。また、学校の授業の宿題や予習、復習も、全国・県と比較して同程度以上の割合で家で学習できていると考えられる。今後、さらに学習習慣の確立を図る為、家庭と協力した「家庭学習」の充実を推進していくことが必要である。
---------	--

**(2) 学力向上に関わる内容について
(学習規律, 主体的な活動, 授業)**

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計(百分率)

質問紙より抽出		中学校		
		葉山町	神奈川県	全国
①	学校の規則を守っていますか	95.6	92.8	94.7
②	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	79.6	70.8	74.1
③	1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	78.8	72.3	73.8
④	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	87.0	82.1	84.1
⑤	1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	87.0	73.8	77.8
⑥	1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	83.1	68.5	69.3
⑦	1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	79.6	70.7	72.4
⑧	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	67.1	59.6	57.7
⑨	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	71.0	62.9	64.8
⑩	1, 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	88.2	78.0	84.9
⑪	1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	54.9	58.3	63.1
⑫	1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	71.0	69.1	76.8

課題 及び 改善点	<p>設問②, ③, ⑤, ⑥, ⑦, ⑨では、全国・県と比べ5ポイント以上上回っている。この結果から、日頃の丁寧な指導とともに、話し合い活動や発表の場を積極的に取り入れた授業実践が行われていることが窺われる。今後は、これらの取組が生徒の確かな学力向上へつながっているのかを検証していくとともに、各授業の中で生徒の話し合い活動が他教科等と関連付けた取組になっているのか、付けさせたい力と結びついているのか等、質的な向上を図ることが求められている。</p> <p>設問⑩, ⑫では、全国と比べ5ポイント以上下回っている。授業のめあて・ねらいの提示や振り返り活動によるまとめは、授業づくりにおいて必要不可欠な取組である。指導と評価の一体化を図る上でも、しっかりと授業の中に位置づけることが必要である。</p>
-----------------	--

(3) 教科に関わる内容について

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計(百分率)

質問紙より抽出		中学校		
		葉山町	神奈川県	全国
①	国語の勉強は好きですか	54.1	61.6	59.8
②	国語の授業の内容はよく分かりますか	80.0	75.4	74.1
③	読書は好きですか	71.4	64.8	69.9
④	国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	94.5	93.8	94.7
⑤	数学の勉強は好きですか	75.7	77.8	80.5
⑥	数学の授業の内容はよく分かりますか	74.5	72.2	69.4
⑦	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	71.0	69.0	69.0

課題 及び 改善点	<p>設問②, ⑥では、全国と比べ5ポイント以上上回っており、授業に対する前向きな姿勢が窺われる。生徒の学習意欲が向上するよう、発問を工夫したり、生徒同士が関わりあって思考を深める場面を効果的に設定するなど、授業づくりのさらなる工夫が求められている。</p>
-----------------	---